

医療福祉妊産婦医療費助成制度を継続して実施します。

次代を担う子どもたちについても、各種支援を実施します。まず、子ども手当については、国の目標である6月支給開始に向け、鋭意努力しています。

さらに、本年4月1日から、三島小学校放課後児童クラブを開設し、留守家庭などの子どもたちが、放課後安心して過ごせる環境を整備するとともに、伊奈第1保育所に係る耐震診断を実施し、安心してお子さんを預けられる環境を整備します。

その他、民間保育所低年齢児保育体制緊急整備事業について、基準を超える保育士の配置に対する助成を国の政策に合わせ、保育環境の充実ならびに雇用対策の一環として推進します。

教育・文化・スポーツの振興

学校施設は、そこで学ぶ児童生徒のみならず、非常災害時には地域住民の避難場所になるなど、市民にとって最も身近な公共施設の一つです。そのようなことから、安全・安心で、環境にやさしい学校づくりを進め、耐震化、エコ化、情報通信技術化といった課題に取り組みま

す。

事業としては、わかかさ幼稚園、小張小学校、谷和原中学校の耐震化事業を進めるとともに、平成23年7月をもってテレビ放送が完全デジタル化に移行することから、幼稚園、小学校など11施設の地上デジタルアンテナ設置事業を引き続き実施します。

また、老朽化した谷和原幼稚園と谷和原第2保育所を谷原西部土地改良事業地内の同一敷地内に移転する計画を進め、昨年度、施設の実施設計を作成するに至ったことから、本年度は建設工事に着手し、平成23年10月の開所・開園を目標に整備を図ります。

文化振興については、平成20年度から県指定文化財である板橋不動院楼門の保存・修繕工事に対する助成を引続き実施します。

産業の振興

商工業の振興については、商工会と連携し、地元ならではの創意工夫を凝らした個人商店の活性化を図るため、がんばる商店街支援事業、自治金融ならびに振興金融制度など、さまざまな支援策を講じながら魅力ある商業地づくりを推進します。

また、平成20年に開設した消

費生活センターの機能を充実させるため、平成21年から3カ年

計画で、消費者行政活性化のための「集中育成・強化期間」と位置づけ、消費者と身近に接する現場の消費者行政を充実させることで、消費者が抱えているさまざまな問題に対処できるよう進めています。

次に雇用問題についてですが、一昨年から経済不況から雇用環境は依然厳しい状況にあり、本年度は、全庁をあげて雇用推進に取り組みます。16課において17事業を創出し、継続を含め33人の雇用を図ります。

コミュニティの醸成

各地域にある集会施設は、地域のコミュニティ維持・醸成に欠かせないものであり、集会施設の建築ならびに修繕等に対する助成などを行います。

適正な行財政運営

今後の財政運営においては、既存施設について、傷んでから修繕する事後保全的対応から、計画的かつ予防的な対応への変換が不可欠となります。これについて、昨年度は、橋梁の長寿命化計画策定を完了し、公共下水道長寿命化計画にも取り組んだところですが、本年度も引き続き、この公共下水道長寿命化

計画策定を推進します。また、行政評価制度につきま

す。を立ち上げるなどの拡充を図ります。

みらい君家（本市）の家計簿

つくばみらい市の22年度一般会計予算を、年収600万円（月収50万円）のみらい君の家庭に例えて、1カ月分の家計簿を作ってみました。

【家族構成】父、母、みらい君（中学生）、兄（大学生「アパートで1人暮らし」）

家族で稼いだお金など
220,000円

生活費
387,000円

収入

【毎月の収入】	
お父さんの給料（市税）	185,000円
お母さんのパート収入（使 用料・手数料など）	30,000円
貯金引き出し（繰入金）	5,000円
実家や友人からの援助（地 方交付税・国庫支出金など）	210,000円
ローン借り入れ（市債）	70,000円
収入合計	500,000円

支出

【毎月の支出】	
食費（人件費）	103,000円
医療費（扶助費）	62,000円
光熱費・被服費（物件費）	74,000円
車や家具の修理代（維持補修 費・予備費）	3,000円
兄への仕送り（他会計への繰 出金・補助費・貸付金など）	145,000円
家の増改築（普通建設事業費）	69,000円
ローン返済（公債費）	43,950円
貯金（積立金）	50円
支出合計	500,000円

みらい君家（年収600万円世帯）の貯金残高は？

貯金残高（基金残高） 1,130,000円

※1：貯金残高はみらい君家の年収ベースでの値です。

※2：家計簿はより分かりやすくするために1カ月分で作成しましたが、一般会計と対比するためには、年間の収支で比較となります。